

授業科目 (英名)	健康障害看護援助論VI(終末期看護) (End of Life Care)			科目コード	NN310324Jキ
				科目責任者	小西 敏子
1単位	必修	講義	15時間	3学年 5セメスター 専門科目	

[授業の概要]

各発達段階や療養の場で最期を迎える人々とその家族に対して、安寧な最期を過ごすための看護について学修する。

[授業の目的]

看護の対象を総合的に理解し、科学的な知識・技術に基づいた看護を実践するため、さまざまな療養の場で最期を迎える人々とその家族に対して、安寧な最期を過ごすための看護方法、看護ケアを理解する。

[到達目標]

1. 終末期にある対象とその家族の特徴を説明する。
2. 終末期にある対象の療養の場の違いによる看護の特徴を説明する。
3. 喪失と悲嘆を経験した人々に対するグリーフケアについて説明する。
4. 尊厳ある死と意思決定について説明する。
5. 終末期における倫理的課題を説明する。
6. 終末期に関わる者として自らの死生観について述べる。

回数	月	日	曜日	時限	授業計画	授業外学習		担当者
						事前学習・事後学習	時間	
1	4	2	木	3	【講義】ガイドランス 終末期看護の特徴 ①終末期看護の概念 ②終末期をとりまく今日の状況 ③死に近づく過程の身体的変化 ④死に近づく過程の心理的变化	事後学習: 〔課題レポート〕 課題の内容および提出期限は、講義の中で説明する。	30分	小西 敏子
2	4	9	木	3	【講義】緩和ケア病棟における終末期看護 ①緩和ケア病棟とは ②終末期の特徴的な苦痛に対するケア ③死に近づく人と何を話すのか ④緩和ケア病棟における看護師の役割		60分	荒川 翼 (茨城県立中央病院/がん看護専門看護師) 小西 敏子
3	4	16	木	1	【講義】クリティカルケアの場における終末期看護 ①クリティカル期における終末期看護の特徴 ②脳死と移植医療 ③移植医療における終末期看護	事後学習: 〔課題レポート〕 課題の内容および提出期限は、講義の中で説明する。		小西 敏子
4	4	23	木	1	【講義・演習】高齢者施設における終末期看護 ①高齢者の死生観 ②高齢者の死の特徴 ③高齢者施設における看取り ④高齢者の死に関わる権利	事後学習: 〔課題レポート〕 課題の内容および提出期限は、講義の中で説明する。	60分	金子 昌子
5	4	30	木	3	【講義・演習】在宅における終末期看護 ①「看取り」とは ②看取りに関わる現状 ③在宅で看取るために ④終末期における訪問看護師の役割			花里 陽子
6	5	7	木	3	【講義・演習】喪失と悲嘆 グリーフケア ①「悲嘆」「喪失」「グリーフケア」の概念 ②自然死・突然死を経験した対象者の心理過程 ③グリーフケアの実際	事後学習: 〔課題レポート〕 課題の内容および提出期限は、講義の中で説明する。	60分	小西 敏子
7	5	14	木	4	【講義・演習】亡くなられた方の尊厳とエンゼルケア ①亡くなられた方の尊厳 ②エンゼルケアの目的と実際	事後学習: 〔課題レポート〕 課題の内容および提出期限は、講義の中で説明する。	30分	ゲストスピーカー 中川 十 (プラスエンゼルセンター) 小西 敏子
8	5	21	木	4	【講義・演習】死生観の形成と死の準備教育 ①安楽死と尊厳死 ②尊厳ある死と意思決定にまつわる用語の整理 ③アドバンス・ケア・プランニング(ACP)と看護師の役割 ③「死生観」とは ④死の準備教育	事後学習: 〔課題レポート〕 内容は講義の中で説明する。	60分	小西 敏子

[成績評価と基準]

課題レポート:80%、授業参加度:20%により評価する。  
欠席した場合、その日に出された課題は0点とする。また、課題レポートは全て指定された期限までに、4階成人看護学(急性期)BOXに提出すること。期限後に提出された課題レポートは、一切認めない。  
成績再評価は実施しない。

[履修上の注意]

終末期看護に関するテレビや新聞の情報に積極的に接すること。また文学作品を読むなどして、自らの死生観について考える機会を作ること。

[教科書]  
特に指定しない。

[参考書・参考資料]  
適宜紹介する。

[質問への対応(オフィスアワー・E-mail)]  
科目責任者(小西敏子)  
オフィスアワー:水曜日12時～13時(研究室16)  
E-mail:konishit@dokkyomed.ac.jp  
その他、講義終了後のリファレンス(LMS)においても、質問を受け付ける。

[備考]  
・講義資料は事前にLMSに掲載し、学生の学修状況を確認する。  
・インターネット等を用いた講義教材を活用する。  
・演習時は、与えられた課題に基づいて小グループでディスカッションを行い、各々の意見を発表し合う。  
・講義内で実施した小テストやLMSに挙げられた質問について、講義・LMSなどで回答・解説する。  
・試験やレポート等の成績評価の結果は、「授業評価に対する回答」の中で講評しフィードバックする。